

令和7年度 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 業務方針

令和7年4月24日 作成

I 組織プロフィール

1 組織の目的・役割

「いわて県民計画（2019～2028）」の「沿岸広域振興圏 地域振興プラン（令和5年度～令和8年度）」を推進するため、次の3点を重点施策として推進します。

- (1) 自然災害に強いまちづくりを進めます。特に、令和7年2月に発生した大船渡林野火災により必要となる災害対策に取り組んでいきます。
- (2) 復旧・復興事業で整備した（ハード）施設の機能がいつでも発揮できるよう適正な管理を行うとともに、東日本大震災津波の教訓を伝えます
- (3) 産業振興に寄与する社会基盤の整備と適切な維持管理を進めます

2 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランにおける組織の役割

- 地域振興プラン（沿岸広域振興圏）
 - I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域
 - II 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域
 - III 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域
- 復興推進プラン
 - I 安全の確保、II 暮らしの再建、III なりわいの再生、IV 未来のための伝承・発信

3 組織や業務を取り巻く環境とその変化

- (1) 令和7年2月に大船渡市で発生した林野火災は平成以降、国内最大であり多くの家屋が焼失したほか、水産業や畜産業なども打撃を受けました。被災者の方々が一刻も早く元の生活に戻るよう復旧・復興に全力で取り組んでいく必要があります。
- (2) 東日本大震災津波から14年が経過し、水門や防潮堤などの社会資本が完成したことから、今後はその機能が発揮できるよう適正な管理を行っていく必要があります。一方で、風化が懸念され、教訓の伝承や復興情報の発信が強く望まれています。
- (3) 激甚化・頻発化する自然災害に対し、国土強靱化と社会資本の機能の維持が強く望まれています。
- (4) 復興後の地域経済・産業の振興のため、道路及び港湾の整備と利活用を強く期待されています。
- (5) 主要なビジネスパートナーである建設関連企業の人材確保が大きな課題となっています。
- (6) 組織には働き方改革の実現と、組織および個人の能力向上が必要とされています。

II 本年度の業務運営方針

1 業務における主要課題

項目 (何を)	達成レベル・対象・目標 (いつまでに、誰を、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当						
<p>復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます</p> <p>■東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信</p>	<p>・高田松原津波復興祈念公園における SNS を活用した情報発信回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>(R3)</th> <th>(R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	(R3)	(R7)	11	19	<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で活動する団体と連携し、利活用の促進を図りつつ、復興の姿を情報発信していく取組が必要。 <p>【R4】：15回 (集計 X(旧 Twitter)) 【R5】：31回 (集計 X(旧 Twitter)) (R3.12月 Instagram、X(旧 Twitter)開設) (R4.10月 Facebook 開設) 【R6】：19回 (集計 X(旧 Twitter)、Instagram、Facebook)</p> <p>〈今年度の取組内容〉【-】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で実施される様々な活動やイベント等を、SNS など様々な機会・手段を組み合わせ、効果的に情報発信。 今年度の目標値は、前年度と同程度とする。 	河川港湾課
現状値	目標値								
(R3)	(R7)								
11	19								
<p>自然災害に強いまちづくりを進めます</p> <p>■災害に強い道路ネットワークの構築</p>	<p>・緊急輸送道路における耐震化完了橋梁数 (橋) [累計]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>(R3)</th> <th>(R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	(R3)	(R7)	8	10	<p>〈現状と課題〉</p> <p>近年、全国で豪雨や台風に伴う災害が激甚化、頻発化しており、沿岸圏域でも平成 28 年台風第 10 号による豪雨災害では、国道 106 号、国道 455 等の緊急輸送道路各地で寸断され、救援物資の輸送や緊急搬送などに支障が発生したことから、これら通行危険個所の解消が必要。</p> <p>〈今年度の取組内容〉【国庫】</p> <p>内容：橋梁耐震化の推進 (主)大船渡綾里三陸線 轆轤石橋 (大船渡市) 耐震補強工事の推進</p> <p>時期：R7 完了予定</p>	道路整備課
現状値	目標値								
(R3)	(R7)								
8	10								

項目 (何を)	達成レベル・対象・目標 (いつまでに、誰を、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当						
自然災害に強いまちづくりを進めます ■洪水・土砂災害対策の推進や津波災害対策の推進	・県管理河川における水位周知河川の指定河川数(河川)〔累計〕 <table border="1" data-bbox="521 316 846 491"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>(R3)</th> <th>(R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	(R3)	(R7)	4	5	〈現状と課題〉 ・水位周知河川の指定、洪水に係る情報提供の充実強化については、計画的に指定が進捗。 ・河川改修、河道掘削、立ち木伐採の推進については、定期的な工程管理、フォローアップを実施。 〈今年度の取組内容〉【本庁】 ・水位周知河川の指定 【R4】浦浜川(大船渡市) 【R5-R7】年度指定予定なし ・河川改修、河道掘削、立ち木伐採の推進	河川港湾課
現状値	目標値								
(R3)	(R7)								
4	5								
	県管理河川における洪水浸水想定区域の指定河川数(河川)〔累計〕 <table border="1" data-bbox="521 738 846 914"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>(R3)</th> <th>(R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	(R3)	(R7)	5	24	〈現状と課題〉 ・洪水浸水想定区域の指定、洪水に係る情報提供の充実強化については、計画的に指定が進捗。 〈今年度の取組内容〉【本庁】 ・洪水浸水想定区域の指定 【R4】鷹生川(大船渡市) 【R5】浦浜川(大船渡市) 【R6】年度指定予定なし 【R7】船河原川(大船渡市)ほか16河川	河川港湾課
現状値	目標値								
(R3)	(R7)								
5	24								
	砂防・急傾斜地崩壊対策事業完了箇所数(箇所)〔累計〕 <table border="1" data-bbox="521 1121 846 1297"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <th>(R3)</th> <th>(R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	目標値	(R3)	(R7)	2	4	〈現状と課題〉 ・自然災害の激甚化、頻発化。 ・ハード対策、ソフト施策の推進が必要。 〈今年度の取組内容〉【国庫】 ・砂防・急傾斜地崩壊対策施設の事業推進〔下船渡(砂防:大船渡市)、久連坪(2)(砂防:陸前高田市)、赤畑(急傾斜:住田町) ・砂防・急傾斜地崩壊対策施設の完了箇所数 【R4】金成沢(砂防:住田町) 【R5】年度完了予定なし 【R6】神明前(急傾斜:陸前高田市)	河川港湾課
現状値	目標値								
(R3)	(R7)								
2	4								

項目 (何を)	達成レベル・対象・目標 (いつまでに、誰を、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当				
自然災害に強いまちづくりを進めます ■洪水・土砂災害対策の推進や津波災害対策の推進	土砂災害基礎調査の実施箇所数（新たな「土砂災害が発生するおそれがある箇所」分） ・累計 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>490</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	0	490	〈現状と課題〉 ・新たな「土砂災害が発生するおそれがある箇所」R5.12 月公表を踏まえ、新規箇所(640 箇所)の基礎調査が必要。 〈今年度の取組内容〉【国庫】 内容：砂防基盤図作成、基礎調査 時期：契約済（R7 年度分） 【R5】 225 箇所 【R6】 136 箇所	河川港湾課
	現状値 (R3)	目標値 (R7)					
0	490						
・令和 7 年大船渡市大規模林野火災からの住宅復興に係るがけ地近接等危険住宅移転事業（戸） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	0	1	〈現状と課題〉 ・大規模林野火災により、住家 86 戸に被害。 ・被災住家の一部が土砂災害特別警戒区域にあり、再建にあたり移転誘導が必要。 〈今年度の取組内容〉【国庫】 ・がけ地近接等危険住宅移転事業補助（大船渡市間接補助）	建築指導課	
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
0	1						
安全で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります ■生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理	・汚水処理人口普及率（%） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.1</td> <td>88.2</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	73.1	88.2	〈現状と課題〉 ・沿岸圏域の汚水処理人口普及率：78%（R6.8 公表値） ・沿岸圏域の汚水処理人口普及率は県全体 85.4%（R6.8 公表値）を下回り、整備の促進が必要 〈今年度の取組内容〉 ・汚水処理施設の整備・水洗化の促進 ・浄化槽設置整備事業（県補助）の推進 ・市町による浄化槽設置の啓蒙	土木技術企画
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
73.1	88.2						

項目 (何を)	達成レベル・対象・目標 (いつまでに、誰を、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当				
<p>安全で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります</p> <p>■生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理</p>	<p>社会資本の維持管理を行う協働団体数(団体)</p> <table border="1" data-bbox="524 256 848 432"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	28	26	<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路や河川・海岸の維持管理における住民との協働 【R4】：道路 16 団体 河川 12 団体 【R5】：道路 16 団体 河川 9 団体 【R6】：道路 17 団体 河川 9 団体 <p>〈今年度の取組内容〉【県単】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の住民協働は、前年度と同程度の団体数を予定する。 ホームページやチラシの活用や地元自治体の協力を得て広報活動を継続する。 	<p>道路整備課 河川港湾課</p>
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
28	26						
<p>生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます</p> <p>■三陸地域の産業を担う人材の育成</p>	<p>・県営建設工事における週休二日工事の実施割合(%)</p> <table border="1" data-bbox="524 794 848 970"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	71.0	100	<p>〈現状と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> R6 年度実績：集計中 (R7.4 月) 建設業は他産業と比較し労働時間が長く、休暇日数が少ない。 労働者の健康確保、ワークライフバランスの改善、担い手の確保のためにも、より働きやすい職場環境づくりが必要。 <p>〈今年度の取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進(「週休2日工事」の拡大普及)「建設業の2024 問題への取組」 週休2日工事は原則すべての工事を「発注者指定型」で発注する。(県土整備部) 	<p>土木技術企画</p>
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
71.0	100						

項目 (何を)	達成レベル・対象・目標 (いつまでに、誰を、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェックの方法など)	担当				
整備が進む社会基盤を産業振興に生かします ■ 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化	・ 観光地へのアクセス道路の整備延長 (km) 〔累計〕 <table border="1" data-bbox="521 316 846 491"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.1</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	3.1	3.1	〈現状と課題〉 三陸沿岸道路の全線開通など沿岸圏域を取り巻く道路の整備が大きく進展。 本県が建設候補地として選定されている国際リニアコライダー (ILC) の県内誘致が実現した祭は、大型部品の陸揚げ等の物流拠点として県内港湾の活用が期待されていることから、物流の基盤となる道路整備が必要。 〈今年度の主な取組内容〉【国庫】※ プラ外 内容：物流の基盤となる道路整備の推進 1(国)107号 白石峠(大船渡市・住田町) 詳細設計(橋梁、道路、設備) 用地測量・物件調査 2(主)大船渡綾里三陸線 中曽根(大船渡市) 工事、用地取得、物件補償 3(一)釜石住田線 中淬(住田町) 用地取得、物件補償、立木伐採等	用地課 道路整備課
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
3.1	3.1						
整備が進む社会基盤を産業振興に生かします ■ 物流の高度化に向けた港湾機能の充実とポート	・ コンテナ貨物取扱数(実入) (TEU) <table border="1" data-bbox="521 943 846 1118"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,352</td> <td>5,700</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	3,352	5,700	〈現状と課題〉 ・ 関係者との協議調整、関係市町村と連携したポートセールスの取組が必要。 【R4】：2,995 【R5】：3,462 【R6】(集計中) 〈今年度の取組内容〉【国庫】 内容：港湾利用者調整会議の開催 時期：港湾利用者調整会議を月例で実施予定	管理課 河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
3,352	5,700						
セールスの推進	クルーズ船寄港数(回) <table border="1" data-bbox="521 1230 846 1406"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標値 (R7)	1	2	〈現状と課題〉 ・ 関係市町村と連携したクルーズ船社へのポートセールス。 〈今年度の取組内容〉【本庁】 内容：クルーズ船寄港	管理課 河川港湾課
現状値 (R3)	目標値 (R7)						
1	2						

2 組織運営課題

(1) 職員憲章の実現

職員憲章	取組内容・ねらい
・能力向上	現地見学会をはじめとした職場研修等により、管理する現場を具体的に共有するとともに日々の業務処理能力の向上を図る。
・明朗快活	不要物品や書類を処分しスペースや動線を確保するなど執務室内の環境整備を促進し、業務の効率化や職員間のコミュニケーションの向上を図り、明るく風通しの良い職場の実現を目指す。

(2) 働き方改革の実現

項目	実施内容等	業務見直し、業務効率化に係る指標及び目標値								
業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・所内の業務バランスを見ながら、必要に応じて担当の見直し等による業務の平準化に取り組みます。 ・外部との会議や打ち合わせをリモートで行い、業務の効率化に取り組みます。 ・会議等における紙資料のペーパーレス化を進めます。 ・行政手続きや業務情報など適切なタイミングで発信し、県民への理解の促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進め方に関する視点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R 7 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複写用紙の購入枚数（枚）</td> <td>1,203,500 枚（R 2）</td> <td>722,000 枚</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値	複写用紙の購入枚数（枚）	1,203,500 枚（R 2）	722,000 枚
		指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値						
複写用紙の購入枚数（枚）	1,203,500 枚（R 2）	722,000 枚								
<ul style="list-style-type: none"> ・県民サービス向上に関する視点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R 7 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間企業等と連携した公共施設・空間利活用の継続を推進</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値	民間企業等と連携した公共施設・空間利活用の継続を推進	2	2		
指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値								
民間企業等と連携した公共施設・空間利活用の継続を推進	2	2								
ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務の縮減として、週 1 回以上の定時退庁「か・えるの日」の実施に取り組みます。 ・休暇取得の促進として、夏季休暇の完全取得、年間 5 日以上の子次休暇取得に努めます。 ・職員ひとりひとりが心身の健康保持に努めるとともに、お互いに思いやりを大事にして話しやすい職場環境づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の推進に関する視点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>基準値（基準年度）</th> <th>R 7 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 人当たり超過勤務時間数（時間/月）</td> <td>14.8 時間/月（R6）</td> <td>14 時間/月（△5%）</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値	1 人当たり超過勤務時間数（時間/月）	14.8 時間/月（R6）	14 時間/月（△5%）
指標名	基準値（基準年度）	R 7 目標値								
1 人当たり超過勤務時間数（時間/月）	14.8 時間/月（R6）	14 時間/月（△5%）								

(3) 内部統制

内部統制の目的を達成するための年間取組目標	
年間取組目標	目標を達成するための具体的方策
自己点検で判明した不適正及び軽微な事項の再発防止	過年度の自己点検で判明した不適正な改善事項等を再び繰り返すことのないよう、チーム内副担当でのチェックを義務化するなど、組織的に取り組む。